

2019（平成31）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
法人本部

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

第二種社会福祉事業

（イ）障害福祉サービス事業の経営

【生活介護事業所】

・ひなたの道 （指定年月日：平成28年10月1日 事業所番号：1313600080）

【就労継続支援（B型）事業所】

・ひなたの道 （指定年月日：平成28年10月1日 事業所番号：1313600080）

・あきつの園 （指定年月日：平成24年4月1日 事業所番号：1313600072）

・なごみの里 （指定年月日：平成21年4月1日 事業所番号：1313600403）

・みどりの森 （指定年月日：平成21年4月1日 事業所番号：1313600387）

（ロ）障害児通所支援事業の経営

【児童発達支援事業所】

・幼児室ポッポ（指定年月日：平成25年4月1日 事業所番号：1352700064）

(3) 基本方針

法人設立から30年、地域の皆さんに受け入れていただき、たくさんの方々のご協力をいただいて邁進してきました。今後も健全な経営、サービス向上に努め、存在価値の高い施設運営を目指していきたい。また、福祉ニーズの多様化・複雑化等により大きく変化している昨今、利用者・保護者・職員・地域の皆様が、安心して暮らせるよう地域福祉に貢献し、地域にかけがえのない社会福祉法人となるよう努力していく。

2. 重点目標

(1) 理事会の開催

- 6月 審議事項：事業報告、決算、他
 - 10月 審議事項：補正予算、他
 - 2月 審議事項：次年度事業計画、予算、他
- ※ 上記の日程の他必要に応じて開催する。

(2) 評議員会の開催

- 毎会計年度終了後3ヶ月以内：計算書類及び財産目録の承認
- ※ 上記の日程の他必要に応じて開催する。

(3) 監査の実施

- 5月 監事による事業及び会計監査を行う。

(4) 執行会議の開催

- 毎月1回開催する。(協議事項、報告、事務連絡、他)

(5) 合同職員会議の開催

- 年2回(4月、12月)法人全体で職員会議を行う。また研修部会と協力をを行い職員の育成に寄与する。

(6) グループホームの創設

- グループホームの新規創設のため、建設委員会やプロジェクト会議等を通じ検討を行い、具体的な建築計画・運営方針等を策定し、平成32年度の開所に向けて準備を進める。

(7) みどりの森の将来像

- みどりの森の賃貸借契約の満了(平成32年)に伴い、今後の事業運営について、検討会を開催する。

【長・中期目標】

社会福祉法人山鳩会は昭和63年3月29日に法人格を得て、ひなたの道、あきつの園、なごみの里、みどりの森、幼児室ポッポを開設し30年が経過し、利用者数208名、職員数93名の組織に成長することができた。今後設立50年に向け、より健全に法人を運営していくために、職員の人材育成やスキルアップのため人事考課制度をより充実させていく。また、施設の整備や福祉ニーズの多様化、職員の働く環境の整備など様々な課題を抱えている。法人として利用者やその関係者、また職員の生活や利益を守るためにも、長・中期計画を立て状況変改に対応すべく運営を行っていく。

1 長期計画（10年～50年）

- ・利用者や関係者のニーズに応えながら、重要な役割として安定した法人の運営を行い今後も半永久的に存続させる。
- ・利用者サービスを日中活動から夜間の活動まで広げ、多様な支援体制を確立し利用者や関係者のニーズに応える。

2 中期計画（3年～10年）

- ・山鳩会の将来を見据えてより質の高い中堅職員の育成を積極的に行い、将来の施設長候補を育成する。
- ・利用者や関係者の高齢化に伴い、支援状況の変化や支援体制の強化を行い、ニーズに合った支援を行えるように環境等を整える。
- ・職員のレベルアップを図るために、人事考課の強化や人事異動を含め将来のために人材に投資し優秀な人材の確保に努める。
- ・職員の働く環境の整備を検討するために、中堅職員によるビジョン会議を行い、福利厚生の実現を図って行く。